

平成29年度教員免許状更新講習シラバス

| | | | |
|--------------------------|--|---|-------------------|
| 講習の区分 | 【必修領域】全ての受講者が受講する領域 | | |
| 講習の名称 | 【必修】教育の最新事情C(幼・小・特支教諭向け) | | |
| 開設日 | 平成29年7月9日(日) | 講習時間 | 6時間 |
| 主な受講対象者 | 全教員 | 受講人数 | 120人 |
| 講習の形態 | 対面授業 | 会場 | 佐賀大学:経済学部4号館第5講義室 |
| 担当講師 | 岡 陽子、庄籠 道子、日野 久美子 | | |
| 講習のねらい・到達目標 | 講習全体を通して、教職についての省察、子どもの変化についての理解、教育政策動向についての理解及び学校の内外での連携協力についての理解をする。 | | |
| 講習内容 | 子ども観や教育観などの教職についての省察の方法、子どもの発達や変化についての理解と特別支援教育の視点からの具体的な実践、個々の子どもへのカウンセリングマインドをもった対応の方法など、教育の最新状況と現代的な課題やニーズを踏まえた知見を提供する。 | | |
| 評価方法・基準 | 成績評価は、各講習の担当者が行う試験の成績や、講習への出席状況から総合的に判断します。評価基準は、総合点で60点以上を合格とします。 | | |
| | 認定試験 に関して | 資料の持ち込み（不可）※客観(選択)テストを中心とする | |
| 講習計画/講習内容 | | | |
| 開始時刻等 | 担当講師 | 内容 | 補足 |
| I 9:00～10:30 (90分) | 岡 陽子 | 学校教育をめぐる近年の状況の変化を理解するとともに、子どもに求められる能力観を基軸とした授業づくりの視点について考察する。その上で、これからの学校に求められることやそれを支える教師の資質・役割について議論と省察を行う。 | |
| II 10:45～12:15 (90分) | 庄籠 道子 | 20世紀型教育と21世紀型教育、小学校教育と幼児教育の違いなどを説明しながら、カウンセリングマインドをもった子どもの見方・対応について考える。 | |
| 12:15～13:15 | 昼休み | | |
| III 13:15～14:45 (90分) | 日野 久美子 | 近年の特別支援教育の動向を踏まえ、脳の働きや認知機能から発達障害を理解すると共に、子どもの問題行動への基本的な対応について考える。 | |
| IV 15:00～16:30 (90分) | 日野 久美子 | 筆記試験 【資料の持ち込み（不可） ※客観(選択)テストを中心とする】 | |
| 持参するもの | | | |
| 予習について | | | |
| 受講上の注意 | | | |